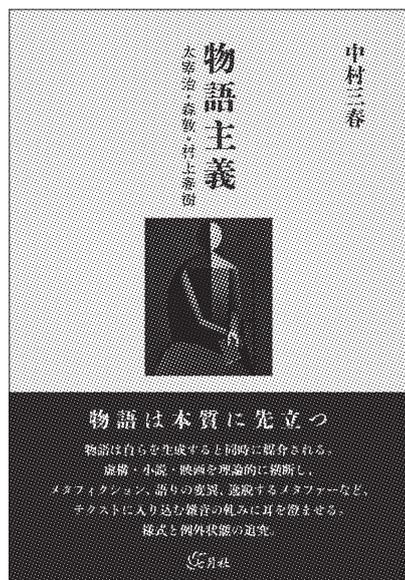




物語主義——太宰治・森敦・村上春樹



中村三春 [北海道大学教授／近代文学・表象文化論] = 著

定価：本体 **3400**円 [税別] / 四六判上製 / 320頁

目次	I 物語と虚構の文芸学 虚構論と物語論 / 作者の理論・素描 / テキスト・断片・コンテクスト / 雑音調 (例外状態) の文芸学
	II 小説と映画の物語 蝕まれるべき友情——小説構造から見た『白樺』派の小説 / 芥川龍之介のメタフィクション / 太宰治におけるテキスト様式の成立 / 太宰治と複合的小説構造 / 太宰治『斜陽』とチェーホフ『桜の園』 / 森敦『月山』の小説と映画 / 物語の変容——森敦『われ逝くものごとく』と『ハーメルンの笛吹き男』 / 村上春樹の小説と〈メタファー〉——『海辺のカフカ』と『騎士団長殺し』 / 村上春樹の小説における戦争 / 現実性の境界事象——小川洋子『原稿零枚日記』

理論編と実践編の2部構成で、物語と虚構を論じる

何らかの「本質」が先にあり、それを語るために「物語」が作られるというのは幻想であり、「物語」がそれにふさわしい「本質」を要請するのだと著者はいいます。本書では、この考え方を「物語主義」と名付け、それに基づいて太宰治や芥川龍之介の複雑な小説構造や、森敦の「境界」の問題、村上春樹のメタファーや戦争との関係などを論じます。

論じている主な作家・作品：

太宰治『斜陽』『女の決闘』、森敦『月山』『われ逝くものごとく』、村上春樹『海辺のカフカ』『騎士団長殺し』『ねじまき鳥クロニクル』『アフターダーク』『ドライブ・マイ・カー』、小川洋子『原稿零枚日記』、芥川龍之介、白樺派の作家たち など

株式会社 七月社 ☎182-0015 東京都調布市八雲台 2-24-6 電話 / FAX : 042-455-1385

帳合・番線	注文数	発行：七月社 電話：042-455-1385
	冊	中村三春=著 物語主義——太宰治・森敦・村上春樹 四六判上製 / 320頁 / 本体 3400円 / ISBN978-4-909544-34-6 C0095

ご注文は JRC へ / FAX **03-3294-2177** *返品条件付き注文扱い
* JRC 経由ですべての取次への出荷が可能です